

J A とうと 自己改革レポート

JAとうとは、地域農業・地域を支える役割を担うよう、自己改革を進めています。ここに、その取り組み内容の一部をご紹介させていただきます。



「農業者の所得増大の実現」に向けて

■直売所への出荷を目指して



行政の協力を得ながら、地元直売所への出荷者の確保と育成のために「野菜づくり塾」を開講して、野菜づくりに関する知識や技術の研修を行っています。

■おいしいお米を栽培するために

営農組合等中核的担い手農家や多様な担い手農家を対象に、食味検査や土壤診断調査による適正な施肥や栽培方法を提案して、おいしい米づくりと収量の確保に向けて取り組んでいます。

■地産地消の促進

地元産米の消費拡大に向けて、ふれあいパーク浅野や多治見営農センターなどで販売促進活動を行っています。



■訪問活動でニーズに対応

当JA役員や営農、金融担当職員が担い手農家を訪問して、栽培技術の提案や補助金活用のご相談など、総合事業提案活動に取り組んでいます。

「「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献」に向けて

■食農教育活動

地域の未来を担う子どもたちに、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を、関係機関や地元の農家の皆さんとの協力を得ながら行っています。

○田植え体験授業

土岐小学校(瑞浪市)の児童、桔梗幼稚園(瑞浪市)の園児らが田植えを体験しました。



○秋の収穫体験

JAとうと体験農場で地元幼稚園・保育園の園児がサツマイモ掘りを体験しました。



○小学校で出前授業

小学校へ訪問して米づくりの出前授業を行いました。



■地域貢献活動

- 地元3市および各種団体等への寄付金協力
- 公共福祉施設への新米寄贈
- こども食堂への運営費支援
- 献血活動

- 特殊詐欺防止啓発活動
- 自転車交通安全教室
- セラミックバレーイベントへの協賛協力
- 管内全小学校への児童向け農業雑誌「ちゃぐりん」寄贈



▲新米寄贈



▲こども食堂支援



▲献血活動



▲特殊詐欺防止啓発活動



▲自転車交通安全教室